

EU Indicators

欧州経済指標コメント：11月ドイツ I f o 企業景況感

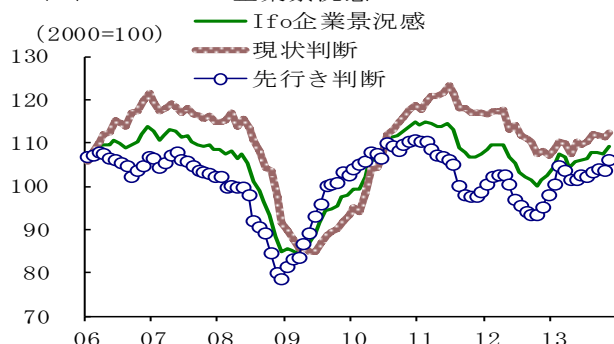
発表日：2013年11月22日(金)

～雨ニモマケズ、ユーロ高ニモマケズ～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

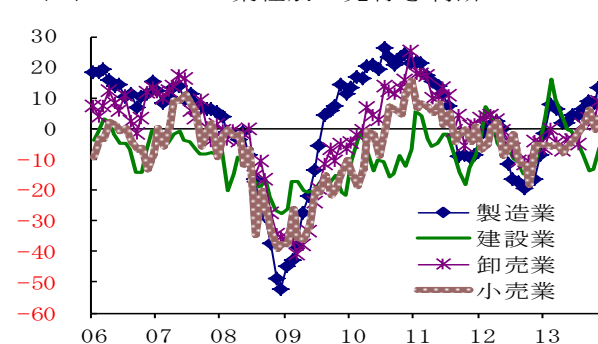
- 11月のドイツの I f o 企業景況感指数は2ヶ月振りに上昇（左図）、事前予想を大きく上回った。夏場以降、改善ペースが足踏みしていたが、再び水準を切り上げた。内訳は、現状判断、先行き判断が何れも改善。とりわけ先行きの改善が大きい。昨日発表のPMI指数と同様に、ドイツ企業の業況判断が上向いている。米財政協議を巡る不透明感の後退、世界的な株高、新興国景気の持ち直しなども奏功した模様。7-9月期の景気は減速したが、10-12月期入り後の順調な景気拡大が示唆される。
- 業種別の先行きの業況判断は揃って改善。製造業、卸売業が前月からプラス幅が拡大、小売業が再びプラスに転換、建設業でマイナス幅が縮小した（右図）。同時に発表されたサービス業の業況判断も現況・先行きともに改善。このところのユーロ高基調もドイツの輸出企業の業況を損なうことはなく、良好な雇用・所得環境を反映して、内需関連業種にも業況改善が広がっている。
- 同日発表された7-9月期の実質GDP成長率の改定値は、速報値から不変の前期比+0.3%。4-6月期（同+0.7%）から減速したが、むしろ前期が天候要因などで出来すぎだった反動減の範疇。7-9月期は外需が前期比▲0.3%ポイントの下押し要因となったが、同期の貿易収支は季節調整後で黒字幅が拡大しており、平仄が合わない。サービス収支の入り食いが生じている可能性があり、ユーロ高による輸出下振れの影響が観測されている訳ではないと判断。

■ ドイツ：I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ ドイツ：I f o 業種別の先行き判断



出所：Ifo

■ ドイツ I f o 企業景況感

	2012				2013							
	4Q	1Q	2Q	3Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
企業景況感(総合)	101.4	106.1	105.3	107.2	104.4	105.7	105.9	106.2	107.6	107.8	107.4	109.3
現状指数	107.5	109.4	108.9	111.2	107.3	110.0	109.4	110.1	112.0	111.4	111.3	112.2
先行き指数	95.6	103.0	101.9	103.3	101.5	101.6	102.6	102.4	103.3	104.2	103.7	106.3
業況判断												
製造業	-4.2	5.0	3.5	7.0	1.6	4.2	4.6	5.1	7.7	8.1	7.4	11.0
建設業	-5.2	7.1	5.9	10.5	3.5	6.3	7.9	8.1	11.3	12.0	11.0	15.0
卸売業	-8.4	4.6	1.6	-4.0	2.6	1.1	1.0	-1.5	-4.2	-6.3	-6.4	-3.3
小売業	1.6	1.6	-1.3	4.4	-5.1	1.9	-0.8	-0.1	7.8	5.4	7.8	11.8
小売業	-2.4	-0.8	-0.7	4.1	-1.0	0.2	-1.3	3.1	2.7	6.4	3.3	5.1

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。